

俳句

1年目 ステップ3

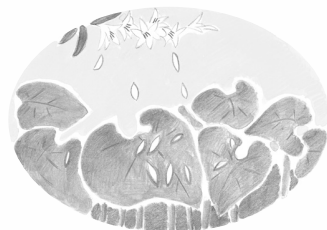


おんせい
音声はこちら

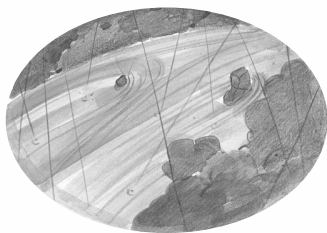
おもしろうて やがて^{かな}悲しき 鵜舟^{うぶね}かな
まつお ばしょう
松尾芭蕉



卵^うの花^{はな}の こぼるる^{ふき}落^おの 広^{ひろ}葉^ばかな
よ さ ふ そん
与謝蕪村



さみだれ 五月雨を あつめて^{はや}早し もがみ^もがわ^が 最上川
まつお ばしょう
松尾芭蕉



あしもと 足元へ いつきたりしよ かたつむり^{かたつむり} 蝸牛
こばやし いっさ
小林一茶





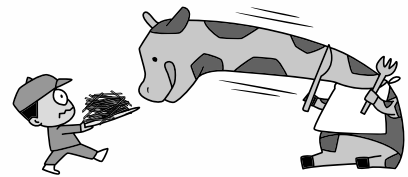
おんせい
音声はこちら

慣用句

1年目 ステップ3

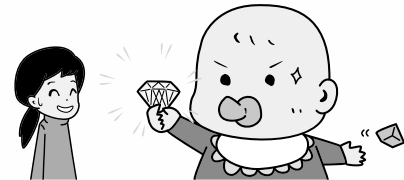
くび なが
首を長くする

いま いま のぞ じつげん ま ようす
今か今かと望みの実現を待ちわびている様子。



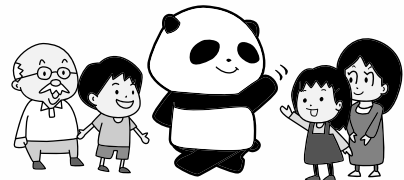
め たか
目が高い

よ わる み わ ちから すぐ
良いものと悪いものを見分ける力が優れている。



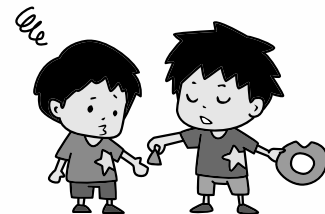
かお ひろ
顔が広い

つき あ ひろ し あ おお
付き合いが広く知り合いが多いこと。



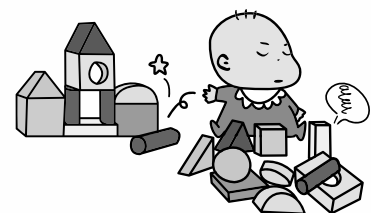
すずめ なみだ
雀の涙

ほんのわずかなことのたとえ。



な
さじを投げる

どりよく むだ とちゅう
いくら努力しても無駄だと途中であきらめる。





《漢字の筆順》

漢字の筆順 知ってるかい

どんな漢字も 基本は2つ

上から下へ 左から右へ

次の原則

縦と横なら 横が先 (大きい)

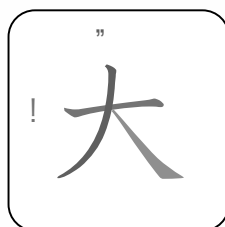
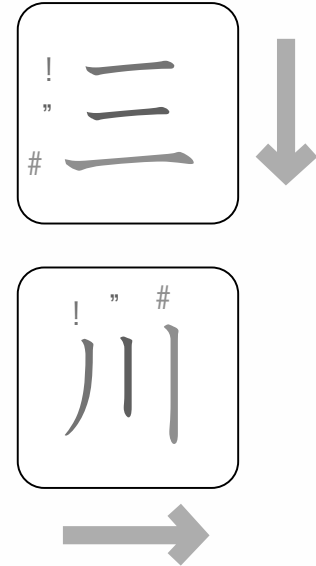
中と外なら 中が先 (小さい)

外と内なら 外が先 (同じ)

左払いと右払い 左払いを先に書く

最後に書くのは 貫く縦線 貫く横線

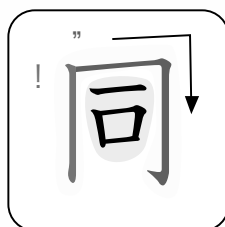
例外もあるよ



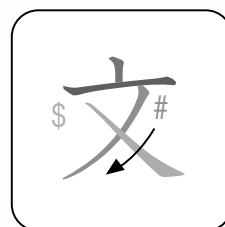
【横が先】



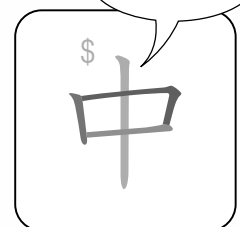
【中が先】



【外が先】



【左払いが先】



【貫く縦線(横線)
が最後】



おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ3

に と お もの いっ と え
二兎を追う者は一兎をも得ず

同時に^{ふた}二つのことをしようと欲張^{よくば}っても、どちらもうまくいかないものだ。



しっばい せいこう
失敗は成功のもと

失敗^{しっばい}しても、そこから欠点^{けってん}を改^{あらた}めていけば、次^{つぎ}には成功^{せいこう}するものだ。



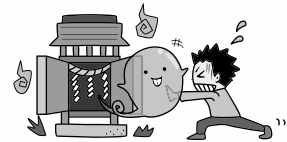
み で さび
身から出た錆

自分^{じぶん}がしたことが原因^{げんいん}で、あとで自分^{じぶん}が禍^{わざわ}いを被^{かぶ}ること。



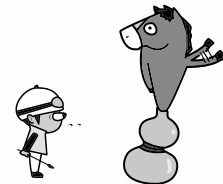
うで お
のれんに腕押し

力^{ちから}を入れて頑張^{がんば}っても手ごたえがないことのたとえ。



こま
ひょうたんから駒

意外^{いがい}なことから思^{おも}いがけない結果^{けっか}が生^{しょう}じること。



し ほとけ
知らぬが仏

知^しればこそ腹^{はら}もたつが、知^しらなければ仏^{ほとけ}のように穏やか^{おだ}で、わだかまりもない。



百人一首

1年目 ステップ3



おんせい
音声はこちら

かささぎの
渡せる橋に
置き霜の
白きを
見れば
夜ぞ更けにける

(中納言家持)

奥山に
もみぢ踏み分け
声聞く時ぞ
秋鳴く
は悲しき
鹿の

(猿丸大夫)

